

阿寒・摩周・釧路湿原ルート



○サイクリングを目的とした国内外観光客増加に伴い、管内の団体が連携することで新たな観光客誘致を推進し、観光事業発展に寄与することを目的として、「くしろサイクルツーリズム推進協議会」を平成26年に設置。

くしろサイクルツーリズム推進協議会
 ・情報発信や受け入れ体制の整備等を実施(部会やワークショップを実施)
 ・メンバー(観光協会、自転車関連団体、交通事業者、NPO団体、行政等)

快適で安全安心にサイクリングができる環境の整備

○路面表示(矢羽根)による安全対策

・車道における自転車通行位置を自転車利用者とドライバーの双方に示し「安全」な走行環境を確保するため、ルート上の主要な交差点部、急カーブの手前、トンネルの入口手前等に設置。



(矢羽根型路面表示設置箇所)



(案内看板シール) (案内用路面表示)

○統一的なルート案内

・道路付属物(道路 標識、道路照明、固定式視線誘導等)の支柱に案内看板を貼付
 ・支柱がない箇所では路面表示により案内。

サイクルツーリズム推進のための取組

○休憩施設の充実

・民間施設や関係機関と連携し、休憩施設箇所の充実を図る。

○移動サポート体制の構築

・地域の民間企業や運輸会社等との連携により、輸送サービスや緊急サポート体制、荷物輸送サービスの構築を図る。また、レンタサイクル等の移動サポート体制の構築を図る。

○情報発信(ホームページ、サイクリングマップ、PR動画等)

・レンタサイクル、ガイドツアーなどの情報へのアクセスを集約した、管内のサイクルツーリズムに関する情報を集約したポータルサイト構築によるPR。

・フォーマットを統一した持ち運びしやすいサイクリングマップを制作し、道の駅や空港等の拠点施設と連携しながら配布する。

・基幹ルートと接続する地域ルート造成に向けたワークショップや試走会を実施。



立ち寄り施設へのサイクルラック設置(硫黄山駐車場)



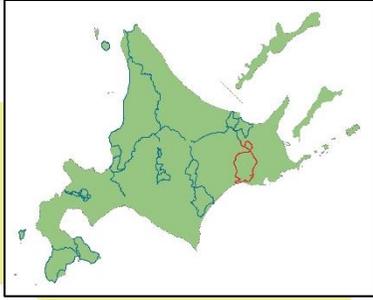
セイコーマートとの連携(休憩施設、サイクルラック設置)



タクシー会社との連携による自転車配送サービス(左)や、道路パトロールと連携したトラブル発生時に緊急対応(右)



全長約308km



凡例	
	基幹ルート
	自動車専用道路
	一般国道
	主要道道・一般道道
	JR線
	道の駅
	空港
	港